

発行 豊頃町
〒089-5392
中川郡豊頃町茂岩本町125番地
☎015(574)2216
発行日 2019年8月1日
編集 豊頃町企画課広報情報係
豊頃町議会広報特別委員会

今月の表紙



7月18日に行われた保育所の子どもたちによるミニ消防士体験の様子です。はしゃいでいた笑顔から真剣な表情で放水体験をする様子が印象的でした。

役場などの連絡先

- ◆役場
☎(574)2211(代表)・FAX(574)3750(総務課)
- ◆各課等(ダイヤルイン)
総務課☎(574)2211
出納室☎(574)2212
住民課☎(574)2213
福祉課☎(574)2214
施設課☎(574)2215
企画課☎(574)2216
産業課☎(574)2217
商工観光課☎(578)7202
農業委員会☎(574)2218
議会事務局☎(574)2222
教育委員会(教育課)☎(579)5801
(図書館)☎(579)5802
- ◆支所・出先機関・町内関係機関
大津支所☎(575)2021
こどもプラザとよころ☎(574)3931
保健センター☎(574)3141
給食センター☎(574)4600
社会福祉協議会☎(574)3143
ココロコテラス☎(578)7202
- ◆地域情報通信基盤施設の故障受付窓口
NTT 東日本データセンター ☎0120(860)023
[24時間 365日受付]

ホームページ

豊頃町 <http://www.toyokoro.jp/>
豊頃町社会福祉協議会 <http://toyokoro-shakyo.com/>

豊頃町の人口と世帯

6月30日現在(前月比)
住民基本台帳に基づく
人口 3,174人(-5)
男 1,537人(-2)
女 1,637人(-3)
世帯 1,494世帯(-3)

町内の交通事故

平成31年1月1日
～7月10日(前年比)
交通事故死ゼロ320日
発生 0件(-1)
死者 0人(0)
傷者 0人(-2)

目次

CONTENTS

02 地域に寄り添った23年間
「スーパーアグリ茂岩店」が閉店

広報とよころ

- 04 消費税および地方消費税(個人事業者)の中間申告と納付
- 05 国民年金からのお知らせ
「保険料は口座振替での前納、早割が便利でお得です!」
- 06 認知症初期集中支援を実施しています
- 07 旧優生保護法下で優生手術を受けた方に対し一時金320万円が支給されます
- 08 はるにれは見ていた「小学生が地引網体験」ほか
- 12 『報徳のおしえ』とともに
- 13 駐在だより「夏の交通事故防止」ほか
- 消火器の不正販売・点検にご注意! !
- 14 献血にご協力ください
- 15 2019年度(上半期)町外通勤者助成金の交付申請を受付けます
- ココロコテラスからお知らせ「幸水の販売」
- 16 みんなの図書館『「4deピンゴ2019夏」開催中』ほか
- 18 Let's ジョシュの英語 - ファミリー・サポート・センターをご利用ください
- 19 町民文芸 - 我が家のアイドル

議会だより

- 20 6月定例会「補正予算の主なもの」
- 21 条例改正等 - 「主な審議内容」ほか
- 22 一般質問「茂岩市街地スーパー閉店後の対策は」ほか
- 23 意見書 ほか
- 24 議会日誌 ほか

役場だより

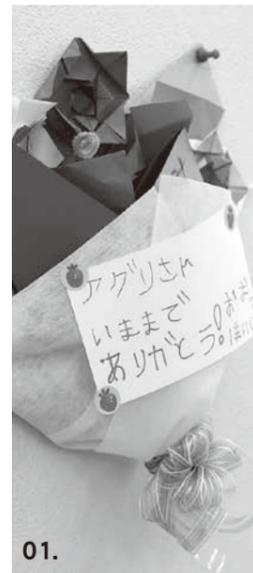
25 INFORMATION ◎目次あり
主な施設の行事予定 ほか

裏 とよころカレンダー

告知 2019 とよころ夏まつり
青少年芸術鑑賞会のお知らせ
第45回豊頃写真クラブ作品展のご案内

訂正して、おわびします

広報7月号はるにれは見ていたP17「ランバーズが北海道大会へ」記事において、「釧路鶴野エース」と対戦したと記載しましたが、正しくは「別海中央コロンプス」の間違いでした。訂正しておわびします。



01.



02.

01.大津保育所の子どもたちから贈られた折り紙の花束
02.閉店当日も変わらず鮮魚コーナーに立ち、訪れた利用者へ笑顔を向ける高橋社長



地域に寄り添った23年間
「スーパーアグリ茂岩店」が閉店

町内唯一であったスーパー、「スーパーアグリ茂岩店」が6月29日に多くの利用者から惜しまれつつ閉店しました。スーパーアグリは、67年前、高橋敏典社長の父・高橋誠氏がスーパーたかはしを創業したことから始まります。その後スーパーたかはしは1997年に豊頃町農業協同組合と合同で出資して豊頃協同商事を設立。旧Aコープ店舗を利用した「スーパーアグリ」が生まれました。そしてこの地に開店してから23年、地域の方々に長く親しまれてきました。高橋社長は「地域密着をモットーに」と、店舗に求められる利用者へのサービスばかりではなく、移動手段の限られるお年寄りへ希望の商品を配達する等、利用者の変化に合わせて、地域に即した運営を心がけてきました。

閉店する当日はセール最終日でもあり、多くの商品は売り切れてしまっていたものの、朝8時15分の開店と同時に利用者は切れ目なく訪れていました。最後の買い物に訪れた利用者は「ずっとここにあったから、なくなってしまうのは寂しい」と、感慨深く店内を見回しながら商品をかごに入れていました。また、ある利用者は長く勤められている顔なじみの従業員へ「いままでありがとう」など労う様子も多く見られ、「利用してくれた多くの町民に改めて感謝したい」と高橋社長は深く頭を下げていました。